

2025 年 10 月 30 日

各位

J A 三井リース株式会社

KPI の一部変更、およびサステナブルファイナンス・フレームワークの改訂について

J A 三井リース株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：新分 敬人、以下「J A 三井リース」）は、今般 KPI の一部変更およびサステナブルファイナンス・フレームワーク（以下、本フレームワーク）の改訂を行いましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 改訂の背景・目的

J A 三井リースはサステナブルファイナンスによる資金調達のため、2022 年 12 月、本フレームワークを策定し、2030 年度目標である KPI、2025 年度以降の各年度目標である SPT を設定しています。

KPI の達成に向けて企業努力を重ねた結果、今般、2024 年度実績が 2025 年度目標を前倒しで超過する結果となったため、現行の目標をより野心的なものに変更し、本フレームワークを改訂いたしました。なお改訂後のフレームワークについては、国際機関が定める諸原則・ガイドラインとの適合性や目標の野心性について第三者評価を取得しています。

2. 変更・改訂の内容

再生可能エネルギー関連投融資額 (本フレームワーク:KPI 1・SPT 1)	< 現行 KPI >	再生可能エネルギー関連投融資額 累計 5,000 億円 (2021～30 年度)
	< 変更後 KPI >	再生可能エネルギー関連投融資額 <u>累計 6,000 億円</u> (2021～30 年度)
	< 直近実績 >	2024 年度：2,957 億円
	< 現行 SPT >	2025 年度：2,500 億円 以降毎年度 500 億円を累積
	< 変更後 SPT >	<u>2025 年度：3,500 億円</u> 以降毎年度 500 億円を累積 <u>2030 年度：6,000 億円</u>

自社が排出する温室効果ガスの 2021 年度比削減率 (本フレームワーク:SPT 2)	<直近実績> 2024 年度 : 44.6% <現行 SPT> 2025 年度 : 40%、 以降毎年度 2% ずつ削減 2030 年度 : 50% <変更後 SPT> 2025 年度 : 45% 以降毎年度 1% ずつ削減 2030 年度 : 50%
第三者評価機関	株式会社日本格付研究所 (JCR)
ストラクチャリング・エージェンツ※	SMBC 日興証券株式会社
参考リンク	・ ホームページ (KPI 掲載ページ) ・ 改訂後フレームワーク ・ 本フレームワーク第三者評価書

※ フレームワークの策定および第三者評価の取得に関する助言等を通じて、サステナブルファイナンスによる資金調達の支援を行う者

【改訂後の KPI、SPT 詳細】

	年度									
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	実績	実績	実績	実績	目標	目標	目標	目標	目標	目標
SPT 1 (億円)	560	1,232	1,928	2,957	3,500	4,000	4,500	5,000	5,500	6,000
SPT 2 (%)	基準年	29.5	35.1	44.6	45	46	47	48	49	50

J A 三井リースは、今後も再生可能エネルギーの普及や脱炭素化に資するビジネスを促進し、サステナビリティ経営を推進してまいります。

【関連する SDGs】



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

J A 三井リース株式会社 経営管理部 コーポレートコミュニケーション室
 電話 : 03-6775-3002 MAIL : JAMLDG1114@jamitsuilease.co.jp